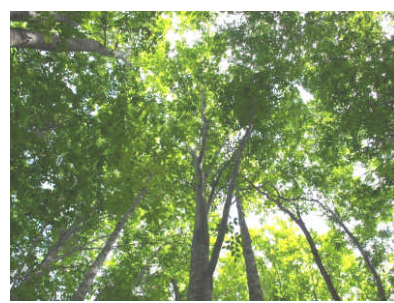
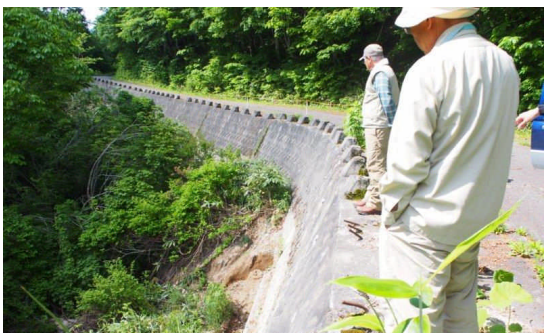


# 南会津町の湿原を守る会だより

## 第十一号

◆平成28年度は、27年9月の台風18号による関東東北豪雨の影響で大きな被害を受けた駒止湿原への道路状況や駒止湿原周囲のブナ林の調査などを行いました。教育委員会より特別の許可をいただき、数か所の崩落現場を視察。湿原へのアクセス道路は、南郷側のみ通行が来ました。被害の大きい崩落現場3か所を視察。

◆湿原は、被害は少なくいつも通りにワタスゲやニッコウキスゲを見る事が出来ました。ニッコウキスゲの蕾やミズバシシヨウの葉がシカ被害にあっていると思われるものも数本確認しました。シカについては福島大学や、専門家が湿原を調査しています。



# ブナ林へ遊歩道

◆6月より、教育委員会に協力いただき、湿原出口近くのブナ林の調査を行いました。この場所のブナ林は針生区より町が借り受けていただいた場所です。ブナ林は広大な素晴らしいものでした。この場所に遊歩道があれば『森の中で森林浴を体験し、ゆったり出来る空間になる』と、遊歩道の提案を行いました。提案後、8月に町へ協力を要請。9月、再度調査を行い路線の検討を行いました。

◆2月、役員会で、教育委員会と農林課より進捗状況の説明がありました。「森林環境税を利用した事業で遊歩道の整備が行われることが決定する予定である」との情報の提供がありました。まずは小規模な遊歩道を設置する計画です。会では今後も、自然や安全に配慮した癒しの森の遊歩道が設置されるよう、協力を行います。



# 外来種駆除作業

◆7月26日(金) だいくらスキー場へ集合し、南郷側より入山。参加人数14人。2班に分かれ、駐車場より白樺谷地入口までの農道と農道沿いで行いました。ヒメシオン、ヘラオオバコ、ブタクサ、イタジハギ、オオマツヨイグサ、ムラサキツメクサを中心に除去。



# 裏磐梯デコ平散策

◆8月7日 18人参加 裏磐梯デコ平(グランデコスキー場)へ。ゴンドラに乗り頂上付近へ。磐梯山を望むコース先のヤナギラン群生地や旅する蝶「アサギマダラ」を観察しました。



グランデコHPより

# 駒止湿原アクセス道路情報

南郷側は28年度で工事が完了したそうです。針生側は29年度も補修工事が行われます。南郷側からも工事が行われる為、29年度も自家用車の乗り入れは禁止されます。

◆29年度は、次のシャトルバスにより(土)・(日)・(祝日)に入山が可能となります。

○駒止湿原フレミアムシャトルバス バス代2,500円

田島駅発10時、だいくらスキー場を経由し、南郷側より入山。案内の会による案内付で散策。予約必要

○予約 1週間前までに『みなみやま観光』へ0241-62-2250

# ブナ植樹情報

29年度、駒止高原癒しの森づくり事業では湿原周囲にブナ苗の植樹を計画しています。会では積極的に参加・協力を行います。予定・・・6月・10月 会員へ案内を通知予定です。

編集後記 平成29年4月21日、東武新型特急リバティの運行が始まりました。関係者や町内年長児、町民らが1番列車を出迎えました。お客様からは「郷土食を楽しみました、歴史ある町です、人や自然が近い」「自然に花を咲かせる湿原！行ってみたい」という声がかれました。山、川、水、そして勿論、湿原という自然が有る事は宝！と感じました。そして自然を求めて訪れる人が多いことも確認しました。29年度は遊歩道の整備など動きのある年になりそうです。今後は更に細かい取材を行い、皆様にわかりやすい情報をお伝えします。

平成29年5月16日 発行 事務局 阿部徳子

# HP完成



<https://minamiaizu-shitsugen.jimdo.com/>

南会津町の湿原を守る会 で検索

会だより、ガイドブック概要、活動写真のほか、事業計画など掲載